

令和7年度の事業実施状況

令和7年度 佐賀県立図書館 利用状況

○概要

本年度の来館者数は、昨年度から施工している外壁工事（～R7.8）によって発生する工事の音や、駐車場の台数減等の影響により、前年度同月と比較すると1月あたり約2200名減少した。工事終了後（R7.9～R8.2）は昨年度並みの来館者数となり、特に12月以降は来館者数が増加している。

なお、個人の貸出利用者数及び貸出点数は、直近10年間の中で令和元年度をピークに減少し続けている。また、インターネット予約件数も令和4年度から減少している。これは電子書籍等の普及などの要因が考えられる。

また、新型コロナを契機とした非来館対応のために令和3年度（令和4年3月）から導入した電子書籍は資料数の増加に伴い、既に前年度末の閲覧数を超える閲覧数となっている。

○利用状況（令和7年4月～令和8年2月）

区分 年度等	入館者数	個人貸出 利用者数	個人貸出 点数	インターネット 予約件数
令和7年度 (2月末)	226,970人	49,184人	155,874点	13,526件
令和6年度 (2月末)	237,985人	52,198人	173,070点	14,922件
対前年度比	95.4	94.2	90.1	90.6
令和6年度末	257,248人	56,870人	188,600点	16,232件

※令和7年度は速報値、令和6年度は確定値

○電子書籍閲覧資料の状況 ※電子書籍は貸出ではなく閲覧

区分	令和3 年度末	令和4 年度末	令和5 年度末	令和6 年度末	令和7 年度	累計
電子書籍 購入数	394	372	407	364	353	1,890
成人	371	324	377	324	340	1,736
児童	23	48	30	40	13	154
閲覧数	113	1,226	1,332	1,772	1,541	5,984

※令和3年度は3月のみの実績（3月から開始）

※令和7年度は2月末時点の実績

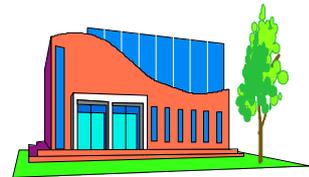
令和7年度 チーム司書ネットワーク等推進事業

【事業目的】

県立図書館の司書が中心となって、市町立図書館の司書等とのネットワークを強化し、各図書館等のニーズに応じた支援の充実及び県内司書のレベルアップを図ることにより、県民が本に親しむ環境づくりの充実を図る。

【事業実績】

- ・新刊児童書等の活用・広報
- ・テーマ別研究会等の運営
- ・チーム司書ネットワークの運営



1. 新刊児童書等の活用・広報

「県内トップがおすすめする児童書」の紹介や、市町立図書館への新刊児童書の一括貸出、特別支援学校での出張おはなし会などを実施し、県立図書館で全点購入している新刊児童書等を、広くPRするとともに利活用を促進した。

(1) 「県内トップがおすすめする児童書」の紹介

県内各分野のトップがおすすめする児童書を、『子ども佐賀新聞』に、年間6回（奇数月）掲載するとともに、推薦者の自筆によるPOPとおすすめの本を館内「こころざしの森」に展示した。

(2) 新刊児童書の一括貸出

県立図書館が全点購入する新刊児童書について、希望する市町立図書館に対し、一括して貸出しを行い、選書や司書研修の資料として活用した。

また、貸出利用館には、近隣の他の図書館や学校からも、選書などの参考にするため、新刊児童書の閲覧に来館されており、貸出利用館だけでなく他の図書館にも広く活用いただいている。

令和7年度は、7市町（鳥栖市、鹿島市、嬉野市、神崎市、基山町、みやき町、白石町）に貸出しを行った。

(3) 学校等への支援

特別支援学校に対する児童書を活用した出張おはなし会の実施や県内学校等が実施する各種研修会等に講師（県立図書館職員）を派遣し、学校等が必要とする支援などを行った。

○特別支援学校を対象とした「出張おはなし会」の実施

特別支援学校の児童生徒等が本に触れ合う機会を増やすことなどを目的として、県立図書館司書が特別支援学校に出向いておはなし会を実施する取り組みを、令和5年度から実施している。

毎回、それぞれの学校の特性や要望を考慮し、工夫を凝らしたプログラ

ムを組んでいる。

(開催実績)

令和5年度：3校、延べ6回

令和6年度：5校、延べ20回

令和7年度：5校、延べ12回 (R8.1.22 現在)

○研修会等への講師(県立図書館職員)の派遣

県立図書館職員が、他図書館や他所属が実施する図書館関係の研修会などに出向き、図書館業務について講義などを行い、職員のスキルアップの機会を提供した。

また、令和6年11月からは「県立図書館出前講座」として、複数のテーマを設定し、公共図書館や学校等に研修の機会を提供している。

(令和7年度実績)

・県立学校司書研修会 … 1回 約40名参加

・県立図書館出前講座 … 7回 延べ約100名参加

2. テーマ別研究会等の運営

県立図書館が中心となって、「レファレンス研究会」、「児童サービス研究会」、「読書バリアフリー検討会」及び「読書バリアフリー研修会」を運営し、県内司書等のレベルアップを目的として、以下の研修等を実施した。

(1) レファレンス研究会(年4回)

月	内容	テーマ
令和7年7月25日	講演	幕末明治期の佐賀について(特に産業について) 佐賀県立図書館データベースについて(解説)
令和7年9月17日	講演	レファレンス・サービスの基本 ~レファレンスの心得を中心に~
令和7年11月14日	講演	レファレンスサービスと生成AI
令和8年1月24日	講演	BIZCOLI レファレンスサービス最前線 ~価値ある専門図書館を目指して

(2) 児童サービス研究会(年4回)

月	内容	テーマ
令和7年6月11日	講演	絵本作家という仕事
令和7年10月29日	グループ研究・実演	おはなし会のネタのタネアニメーション実演
令和7年12月11日	講演	読書する力の発達を支える公共図書館
令和8年2月19日	実演	読書会をやってみよう

(3) 読書バリアフリー検討会（年3回）

月	内容	テーマ
令和7年5月30日	講義・見学	アクセシブルな書籍と読書支援機器の円滑な利用、 佐賀県立視覚障害者情報・交流センター“あい さが”見学
令和7年9月5日	講演	精神に障害をお持ちの方への対応 ※佐賀県立図書館主催研修会と共催
令和7年11月20日	講演	読書障害者への配慮

(4) 読書バリアフリー研修会（年1回）

月	内容	テーマ
令和7年8月5日	講演	図書館における読書バリアフリーの現在

3. チーム司書ネットワークの運営

知の拠点となる図書館づくりにおいて重要な役割を担う司書を対象として、館の垣根を越えた交流の場を設けることにより、ネットワークの形成を促進し、県内図書館の連携強化を図った。

(1) 第6回「司書のつどい」の開催

県内の市町立図書館、公民館図書室、大学図書館、学校図書館などに勤務する司書等を対象として、今年度で6回目となる「司書のつどい」を開催した。

[期日]令和8年2月12日（木）

[場所]ホテルニューオータニ佐賀（佐賀市）

[内容]・講演（有限会社BACH代表 ブックディレクター 幅允孝氏）

- ・表彰（佐賀県公共図書館司書表彰、スクール読書チャレンジ運動表彰）
- ・事例発表（書面による報告）
- ・交流会（参加者による自由意見交換）
- ・ミニ分科会（ベテラン司書への相談会、著作権講座）



【会場入口：ロゴパネル掲示】



【講演：ブックディレクター 幅允孝氏】



【表彰：記念撮影】※表彰状授与者 平尾副知事



【交流会】※講師も参加

(2) 市町立図書館等への訪問

県立図書館のリーダー司書等が、年3回、県内全ての公共図書館、公民館図書室を巡回訪問し、各図書館の司書や職員等と意見交換をしながら、必要に応じた支援や技術的助言等を行い、連携強化を図った。

また、公共図書館の本館だけでなく分館や、県内の施設内図書館の訪問なども行った。

令和7年度 図書資料の配送（相互貸借）について

【目的】

佐賀県では、“だれでも、どこでも、なんでも” 必要な情報が手に入る図書館先進県づくりを進めており、その一環として、県内の公共図書館等が所有する図書資料を広く県民に提供（相互貸借）し、利用者サービスの向上を図るため、県内の公共図書館等を結ぶ「物流システム」を平成22年度から整備している。

【佐賀県の物流システムの特徴】

- ・週3回の集配を実施し、希望する図書資料が利用者のお手元に最短で翌日に届く。
- ・集配センター機能も委託しており、県立図書館が休館であっても物流は稼働する。
- ・「物流システム」に係る経費は、佐賀県が負担する。

1. 令和7年度の実績

令和5年度から、県内全ての大学図書館を追加した物流体制を構築し、令和7年度も引き続き物流の積極的な利活用を図った。

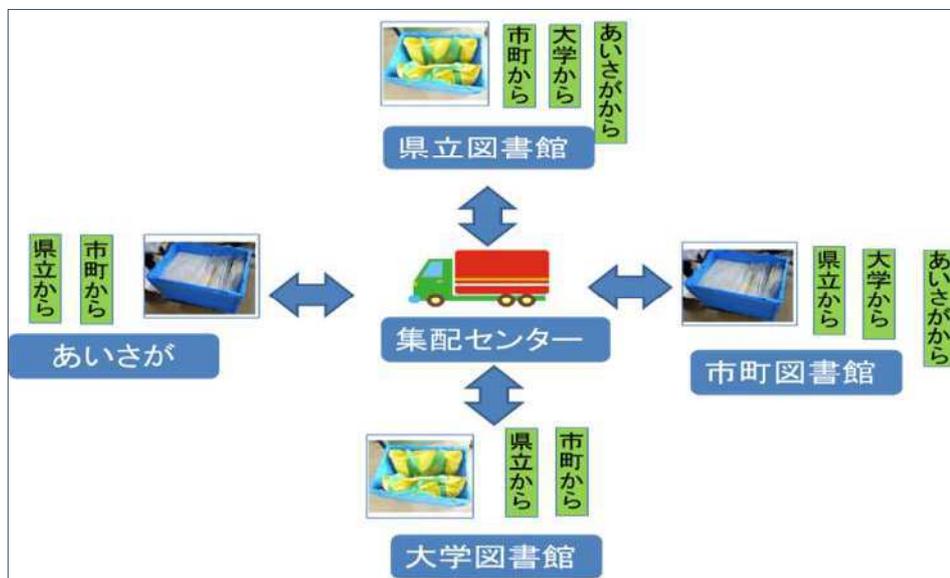
相互貸借の拡充により、各館からは利用者サービスがさらに向上したと大変好評で、これまで交流の少なかった図書館・司書等間の連携も深まった。

なお、現時点で図書資料の相互貸借を行っている館は以下のとおりである。

[利用館（本館のみ／全26館）] ※分館・分室には各本館から送付する。

- ・公共図書館等（21館）
 - 県立図書館（1館）、市町立図書館及び公民館図書室（20館）
- ・点字図書館（1館） ※令和4年度から追加
佐賀県立視覚障害者情報・交流センター“あいさが”
- ・大学図書館（4館） ※令和5年度から追加
佐賀大学、西九州大学、佐賀女子短期大学、九州龍谷短期大学

佐賀県の物流体制のイメージ



令和7年度 郷土資料利活用推進事業

【事業目的】

県立図書館に所蔵している県民の貴重な財産である郷土資料の修理・保存、公開及び活用を図る。

【事業実績】

- 1 郷土資料のデジタル化・公開
- 2 東京大学史料編纂所との共同研究
- 3 佐賀県歴史資料総合調査

1 郷土資料のデジタル化・公開

郷土資料のうち、佐賀藩に係る歴史資料をデジタル撮影し、画像データを「佐賀県立図書館データベース」で公開する。

(1) 令和7年度の撮影件数

- | | |
|---------------------|--------|
| ア 西魚町北島家資料（幕末～近代） | : 73 件 |
| イ 浜崎溝江家資料（近世～近代） | : 70 件 |
| ウ 佐賀県明治行政資料（主として近代） | : 6 件 |

(2) 令和7年度の公開件数 359 件

(3) データ公開 令和8年3月末予定

※ 佐賀県立図書館データベースが、デジタルアーカイブ学会賞（実践賞）を受賞（令和8年1月9日授賞式／一橋講堂 [東京都千代田区]）。

2 東京大学史料編纂所との共同研究（坊所鍋島家文書研究会）

東京大学史料編纂所や県内の研究者と共に、館蔵の坊所鍋島家資料を素材とする共同研究を継続実施した。今年度で佐賀藩祖鍋島直茂や初代藩主勝茂の書状等約 500 通の検討を完了した。

また、共同研究の成果を県民等へ還元するためのシンポジウムを、当館・東京大学史料編纂所・佐賀大学地域学歴史文化研究センターの共同主催で開催し、82 名の参加者を得た。

来年度、研究成果報告書及びシンポジウム記録集をまとめる予定である。

(1) 研究会の開催

ア 読み合わせ

(ア) 第 11 回 令和7年6月21日～23日 東京大学史料編纂所

- (イ) 第12回 令和7年6月29日 リモート
- (ウ) 第13回 令和7年11月7日～9日 佐賀県立図書館
- (エ) 第14回 令和7年11月29日 リモート
- イ 報告書作成に係るリモート研究会
- (ア) 第1回 令和7年12月21日
- (イ) 第2回 令和8年2月8日
- (ウ) 第3回 令和8年3月15日（予定）

(2) シンポジウム「坊所鍋島家文書を読みなおす2－佐賀藩成立期の鍋島氏と佐賀－」の開催

- ア 日時 令和7年11月8日 13時～16時40分
- イ 場所 佐賀大学本庄キャンパス教養教育1号館129号教室
- ウ 参加者 82名



3 佐賀県歴史資料総合調査

市町図書館・文化財担当者と連携した県内資料保存活動を進めるために継続実施している。今年度は、市町へのヒアリング等を参考に、県内歴史資料の所在確認調査を実施した。具体的には、昭和54年度（1979年度）に実施して以来の所在情報等を更新すべく、資料所蔵者（機関）377箇所へアンケートを送付予定である。

来年度は、アンケート回答を受けて、市町と連携しながら資料保存につながる現地調査等を行っていく予定である。

また、令和6年度に佐賀県立図書館データベース内に新設した「市町等館外資料データベース」において、引き続き市町所蔵等の古文書書誌情報を公開し、活用に寄与する。

郷土資料室のリブランディング

郷土資料室では、佐賀県に関する様々な書籍や古文書等を約19万点所蔵している。

これまで、郷土資料の利活用を推進すべく、データベース整備や企画展開催、歴史資料の所在確認調査、東京大学史料編纂所との共同研究などに取り組んできた(【モノ】の価値の普及)。

令和7年度は、より多くの利用／利用者層の拡大を促すため、郷土資料室の【場】としての存在感を増す取組(愛称・展示)と、図書館の【人】(専門的な人材)を活かす取組を始めた。

1 【場】の存在感を増す取組

(1) 愛称「サガスバ」

・佐賀＋探す＋場／佐賀すばらしい

(2) 「佐賀本で深掘るテーマ展示」の企画・実施

・サガスバで佐賀県の特長を(深掘り)する楽しさを実感してもらうため、テーマを設けて佐賀本を選書し、展示する。



テーマ	会期
#1 七賢人をさがせ！	令和7年8月1日(金) ～9月29日(月)
#2 戦後80年 -記憶の継承-	令和7年10月1日(水) ～12月23日(火)
#3 さがのグルメ本 -郷土料理のレシピから佐賀の美味しいお店まで-	令和7年12月25日(木) ～令和8年3月24日(火)
#4 佐賀の葉隠、世界のHAGAKURE	令和8年3月26日(木) ～6月23日(火)

展示風景

#1 七賢人をさがせ！



#2 戦後80年 —記憶の継承—



#3 さがのグルメ本 –郷土料理のレシピから佐賀の美味しいお店まで–



2 【人】(専門的な人材)を活かす取組

(1) 『佐賀県立図書館紀要』の創刊

- ・第1号 令和7年(2025年)11月18日発行、300部印刷。
- ・毎年秋に刊行予定。

執筆者	タイトル
清水雅代	橋本家資料「公儀御用御神剣打立入具銀覚」についての考察
伊香賀隆	古賀穀堂「遊北山記」訳注
野下俊樹	「宗門御改帳」(佐賀県立佐賀城本丸歴史館所蔵)の紹介 —慶応元年九月、唐津藩士三宅東右衛門組の事例—
藤井祐介	江藤新平の長文辞表 —「司法卿を辞するの表」(草稿)の紹介—
諸岡秀孝	「県立図書館出前講座」の実施と今後の展望について
阿部大地	佐賀県立図書館蔵「神崎市字図」目録
浦川和也	絵葉書から見た島義勇及び江藤新平の顕彰過程の検証 —戦前の絵葉書が表象する人々の意識・認識—



佐賀県近世資料編さん事業

【事業目的】

『佐賀県近世史料』の編さんは、佐賀県の歴史・文化に関する古文書を解読し、活字化して、テーマごとに史料集を毎年1巻〔800～1000頁／巻〕ずつ編集・刊行している。くずし字を活字化することで、郷土資料を県民等が利用しやすいかたちで普及し、佐賀県の歴史の解明に役立てる。平成4年度の第1巻刊行以来、これまでの刊行数は33冊に及ぶ。

【事業内容】

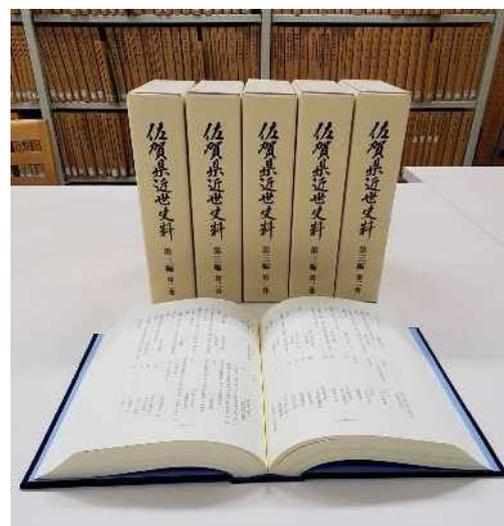
(1) 令和7年度

- ・第7編（産業編）第1巻（鋳物師・鍛冶）の刊行 ＊34冊目
- ・令和8年3月末刊行予定

(2) 令和8年度以降

- ・第4期刊行計画（令和2～13年度）により編さんを継続

年度	冊目	編	巻
令和8年度	35冊目	第4編（対馬藩領編）	第1巻
令和9年度	36冊目	第4編（対馬藩領編）	第2巻
令和10年度	37冊目	第6編（地方・町方編）	第1巻
令和11年度	38冊目	第2編 （支藩・鹿島藩編）	第5巻
令和12年度	39冊目	第6編（地方・町方編）	第2巻
令和13年度	40冊目	第7編 （産業編・陶磁器）	第2巻



【既刊一覧】

第一編 佐賀本藩編	第1巻 直茂公譜・直茂公譜考補 第2巻 勝茂公御年譜・勝茂公譜考補 第3巻 寛元事記・光茂公譜考補地取・綱茂公御年譜 第4巻 吉茂公譜・宗茂公御年譜・重茂公御年譜 第5巻～第10巻 泰國院様御年譜地取Ⅰ～Ⅵ他 第11巻 直正公譜・直正公御年譜地取
第二編 支藩編	第1巻 元茂公御年譜・直能公御年譜・月堂様年中行事・茶屋物語 第2巻 元武公御年譜・元延公御年譜・寺社方定 第3巻 御代々御記録・史料・続史料・献祖遺跡 有馬日記附 他 第4巻 史料・御三家格式・覚・撰津守殿御役一件二付江戸御国贈答留書
第三編 唐津藩編	第1巻 叢格録・庶士伝考異・庶士伝後編 第2巻 大久保略譜・大給松平家譜・享保分限帳・唐津名所記・郷方申付等一件・小笠原家譜 他
第五編 対外交渉編	第1巻 幕末伊東次兵衛出張日記（佐賀藩士伊東次兵衛が幕末期に書き記した備忘録） 第2巻 白帆注進外国船出入注進・幕末伊東次兵衛出張日記 他
第八編 思想・文化編	第1巻 葉隠関連資料Ⅰ（葉隠開書校補・山本神右衛門常朝年譜 他） 第2巻 葉隠関連資料Ⅱ（常朝開書・有馬記拾落 他） 第3巻 葉隠関連資料Ⅲ（泰森公御年譜・石田私史・石田一鼎餓窮状 他） 第4巻 古賀穀堂（古賀穀堂著作集・古賀穀堂書簡集・穀堂遺稿抄（影印本）） 第5巻 古賀穀堂（穀堂遺稿抄・古賀穀堂遺稿・古賀穀堂墓碣銘）
第九編 文学編	第1巻 近世文学〔俗文芸〕（俳諧編・一編含十九集 他） 第2巻 近世文学〔雅文学〕（大潮元皓『松浦詩集』『魯寮詩稿』他・売茶翁『売茶翁馬語』他）
第十編 宗教編	第1巻 天台宗由緒・真言宗由緒・當山派山伏由緒・彦隆山記録 他 第2巻 曹洞宗由緒・済家宗由緒・大施餓鬼二付諸記録 他 第3巻 浄土宗由緒・一向宗由緒・法華宗由緒 他 第4巻 … 社家・御社参之一通・與賀大明神御鎮座記録 他 第5巻 肥前筑後御参宮人帳 他 第6巻 彦山権現御祭入具帳・諸山伏御判物其外写、他 第7巻 佐賀藩寺社方拔書・東西伽藍記・多久私領神社仏閣小祠石仏調子書・黒髪山記・神社調 他

令和7年度 施設改修及びその他事業

1 佐賀県立図書館 小荷物昇降機更新工事 (FM)

県立図書館に設置している小荷物昇降機（本館・新館書庫 計2台）については、経年による老朽化や電気系統の部品製造停止等により、継続して使用するにあたり支障となる恐れがある状態であり、長寿命化のため巻上機・制御盤・操作盤等（電気設備関係）を改修した。（工期：令和7年5月1日～令和8年1月15日）

<本館 1号機>



<新館書庫 2号機>



2 外壁改修工事

利用者の安全性確保のため、令和6年度から7年度にかけて計画的に改修工事を実施した。（工期：令和6年11月1日～令和7年8月12日）



北側玄関：改修前



北側玄関：改修後

3 蔵書整理

書庫内の全資料の確認・整理に取り組み、資料価値を失ったもの、代替資料があるものなど継続して除籍を進めている。

7年度実施数（R8.2末現在）

・除籍数（他施設への管理換え含む） 12,235冊

子どものこころざしスポット充実事業



子どもたちが、いつでもどこでも本に親しめるよう、佐賀県立図書館で活躍した児童書を子どもたちの身近な場所（こころざしスポット）に提供し、図書コーナーを新設・充実させる事業です。 ※この取り組みで図書コーナーを新設・充実された子どもの居場所を「こころざしスポット」と呼びます。

○こころざしスポット件数 **519件**（令和8年2月現在）

○令和7年度児童書提供施設数 **76件**（76件×15冊＝1,140冊）

提供先：放課後児童クラブ、こども食堂、小児科、障がい児童通所施設、子育て応援の店など



＼ 提供先からのコメント ／

- ・新しい本がある！と嬉しそうに読んでいます。図鑑等は小さい子も興味を示して、楽しそうに見ています。（EQWELチャイルドアカデミー佐賀教室）
- ・小児科待合室及び隔離室に設置し、診察待ちの時間に保護者やスタッフが読み聞かせている。内容を喜んで診察の際に話してくれる。（こが内科こどもクリニック）
- ・子ども向け図書の寄贈を多数いただいたことを機に「子ども向け本コーナー」を更に充実させ、新たに二箇所目のコーナー増設ができました。その結果、より多くの場所で子どもたちが本に触れる環境を作ることができ、子どもたちやその保護者から喜びの声をいただいております。今回の取り組み、深く感謝いたします。（CAFE木と本）
- ・病院の待合室に以前、こころざしスポットの本があるのを覚えていて、素敵な取り組みだなと感じていたので、自分の店で絵本コーナーを作り、こころざしスポットの本でジャンルが充実したので嬉しく思う。たくさんのお客様に読んで頂きたい。（マジカル☆こめぱん）



令和7年度 企画展示・情報発信状況

○展示ホールでの企画展示

当館司書が月毎に時世や話題のテーマを取り上げた展示や県庁内各課とコラボし、当館で所蔵している関連本を集めた展示を行っている。

【企画展示・情報発信 実施状況】

月別	大展示	コラボ展示等	その他
4月	カラダとココロを整えよう！	・佐賀県立彩志学舎中学校(夜間中学)学校案内 ・九州佐賀国際空港国際線	<ul style="list-style-type: none"> ・児童 ・ティーンズ ・文学賞 ・追悼展示 <p style="text-align: right;">等</p>
5月		・みんなで育てよう！さかの森林 佐賀県環境税 ・保護犬・保護猫について知ろう	
6月	色で楽しむ本棚	・お口の病気で急増中のToothWear(トゥースウェア)とは ・男女共同参画週パネル展 ・昭和の学校教育―戦前から終戦までのあゆみ― ・統計の大切さ、統計グラフの面白さを感じてみよう	
7月	文豪たちの素顔と名作	・佐賀県の環境 ・木材利用の魅力 ・弘道館2―藩校しようぜ。―講座開催！	
8月	明治日本の産業革命遺産	・ひとりひとりの好奇心に寄り添う学びがあります。 ・知って、活かそう！カラーユニバーサルデザインとロービジョンケアで実現するより良い見え方	
9月	SAGA たてもの今昔 ～SAGA たてもの結び～	・統計の大切さ、統計グラフの面白さを感じてみよう ・8月は同和問題強調月間です ・9月は認知症月間～共に生き ともに歩もう 認知症～	
10月	入試に出題された本	・9月は健康増進普及月間 ～4つの健康ライフで生活習慣病を予防しよう～ ・労使間のトラブル相談は、佐賀県労働委員会へ	
11月	世界のファッション ～流行の歴史～	・お口の発達を育てよう【口腔機能発達不全症】ってなに？ ・森を守る林業	
12月	小泉八雲が愛した世界	・やきものの街で過ごすクリスマス ・佐賀県立彩志学舎中学校(夜間中学)学校案内 ・知ろう、そして認め合おう～さまざまな人権について～ ・ペットと防災	
1月	BOOK OF THE YEAR2025	・あなたの学びを、思う存分。 ・佐賀県立彩志学舎中学校(夜間中学)学校案内 ・ニセ電話詐欺等に注意しよう！ 犯罪被害者等支援について学ぼう	
2月	情熱みなぎる丙午	・鍋島焼 350周年について ・森川海人プロジェクト 2代目キャプテン「森川海人くん」のご紹介 ・『本で会おう4カ国』～世界の本を読んでみませんか？ ・県内各地で活躍するさが地域おこし協力隊 ～Let's Link and Try～	
3月		・こころのとしょかん ・鍋島焼 350周年について	

令和7年4月、5月
ココロと体を整えよう！



令和7年4月
九州佐賀国際空港国際線



令和7年10月
労使間のトラブル相談は、佐賀県労働委員会へ



令和7年10月
9月は健康増進普及月間



令和7年11月
森を守る林業



令和8年2月～3月
鍋島焼 350周年について

